

ゴーヘッドズ 速報

Goaheads

第28号 平成19年11月25日

走塁に粗さ、追加点の好機を逃す！



牧野快投 3死四球に泣く！



11月25日岸根公園野球場にてシンボー情報システムと、神奈川区民秋季大会2回戦を行った。春の大会は先制したにも関わらず、先発投手の突如の乱調からあっさり逆転を許し、敗戦となっただけに、秋は、投手として、最近着々と力を付けてきている牧野を先発にたて、2回戦突破を目指した。先攻は、我がチーム、この日の1番は山田、四球を選び出塁、2番山下の打席で2盗、打者山下はランナーを進める内野ゴロ、3番竜が左中間にクリーンヒット、これで1点。しかし、何を思ったか、ヒットの打球にも関わらず、迷わず2塁を目指したが、そこは竜の走塁、あっさりセカンドアウトで塁上にランナーを溜められない状態。4番おすぎは、いい当たりであったが、センター正面のライナーでこの回の攻撃を終えた。続く回の攻撃も2つの四球を選び、1アウト1塁2塁の時に打者中富がクリーンな右中間ヒットかと思いきや、セカンドライナーに終わり、4-3のダブルプレーにより、またもや追加点の好機を逃してしまった。失点は、2本の長打に守備の乱れからの3失点だった。今回の大きな敗因要素は2つ、1つは走塁の先ずさ、2つ目は守備の乱れだろう！先、先の塁を目指す事は非常に良い事だが、それは、時により暴走に繋がる。そして、その行為は、チームを負の気持ちに追いやる。守備の拙さにおいては、自分がエラーした事により失点した、とその後のプレーに萎縮した気持ちがプラスし、結果これまた、負の気持ちへとプレーが繋がる。走塁の先ずはランナーの沈着かつ大胆な判断と共に、コーチアの判断も重要、守備に関しては、日々のキャッチボールを大事にエラーしない気持ちを持つ事が大事。残り試合も少なくなり、2つの要因に臆する事無く、勝利に拘り公式戦は価値に拘ろう！